

| | | | |
|--|---|------|----------|
| 緊急事態に陥ったときの対応を立場の違いを踏まえ、心理・経理の両面から考えてまとめる。 | | | |
| 教案番号 | 16 | 対象 | 小学校中学年 |
| 分野 | 心理・経理 | タイトル | 運転士の緊急事態 |
| 時間 | 3人で40分前後 6人で休憩を入れて60分前後 | | |
| 指導概要 | <p>2021年に起きた事例をヒントに本教材を作成した。</p> <p>その事例とは、新幹線の運転士が腹痛で走行中に3分間運転席を離れた。その間、運転席に車掌を座らせた。新幹線の遅延は防げたが、その対応が問題となった。</p> <p>①新幹線の運転士の立場から運転中の腹痛にどう対応するか考える。</p> <p>②新幹線の指令室の立場からどう指示するか考える。</p> <p>③社長の立場から問題の根本的な解決法を考える。</p> <p>短時間で判断しなくてはいけない事態で、どう考えをまとめ、どう言語化して対応するかを考える課題。</p> <p>特に「相対する考えをまとめる難しさ」を紙上で体験させたい。</p> | | |

【1】授業の流れ

| 具体的活動内容 | 教材・教具 |
|---|-------------------------------------|
| <p>1. 運転士の立場から考える</p> <p>①腹痛で次の駅までトイレを我慢できそうもない。</p> <p>②新幹線を止めると3分半おきに動いている列車ダイヤに影響が。</p> <p>③自分ならどうするか、発言させたあと、選択肢を参考に自分の考えをまとめる。</p> | <p>プリント①の 本文 ↓ 参考意見</p> |
| <p>2. 運転指令室の係の立場から考える</p> <p>①JRでは、緊急事態などが発生した場合、運転指令室の指示を仰ぐことになっている。</p> <p>②運転指令の立場から、連絡が入ったらどのような指示を出すか。 3分半おきの運行ダイヤでは、さらに上司の指示を仰ぐ時間はなく、自分で判断しなくてはならない。</p> <p>③どのような指示をするか考えて文にまとめる。</p> | <p>プリント②</p> |
| <p>3. 社長の立場から考える</p> <p>①ダイヤを乱すと責任を問われるという運転士の心理</p> <p>②運転士2人乗務体制にすると人件費が倍になるという経営上の問題 この両方を考慮した解決案を考える。</p> <p>正解を導き出すのは難しいが、2つの問題を無理なくどう折り合わせるかを考えるトレーニングは、児童のうちからさせておきたい。</p> <p>学級会でも児童会でも、「折り合いをつける」思考が必要で、それを案として文章化できる力が求められる。</p> | <p>プリント③</p> |

【2】次ページより教材例を提示（指導者用に続き、子ども用を掲載）

1 2021年5月16日。ひかり633号は東京駅を出発し、品川駅、
新横浜駅を過ぎ、小田原駅に停車した。その時、運転士は
おなかが痛くなり、トイレに行きたくなった。

しかし、新幹線は3～4分の間隔で走行しており、小田原
駅でトイレに行っている間は、後の新幹線が来てしまい、運行
ダイヤが乱れてしまう。そこで、がまんして名古屋駅に向かっ
て発車させた。だが、すぐに激しい腹痛に見舞われ、がまんが
できなくなった。名古屋まで約1時間、途中の駅には停車せず、
ノンストップで走る新幹線。走行中に運転席を離れて車内の
トイレに行くか。あなたならどうする。

参考となる状況は以下の通りである。

- ①ほかに車掌はいるが、運転士は自分一人である。
- ②新幹線には自動列車制御装置が付いていて、運転士が意識
を失っても速度を検知して非常ブレーキが働き、列車が
止まるシステムになっているが、自動運転ではない。
- ③途中に駅はあるが、ひかり633号の停車駅ではない。

(1) 次の意見も参考にしながら、自分の考えをまとめなさい。

Aさん：自動列車制御装置（ATC）が付いているから、私なら
トイレに行くわ。

Bさん：車掌がいるんだから、その間、少しだけ車掌に運転席
に座ってもらって走らせたらいんじゃない。

Cくん：小田原の次の駅、三島に停まってトイレに行けばいい。

Dくん：それじゃあ、列車が遅れてダイヤが乱れ、多くの人に
迷惑をかけて叱られるよ。がまんできるだけがまん。
最悪の場合は名古屋駅で掃除してもらえばいい。

本紙は十分に意見を出させた後で配布する。

規則では非常時は運転指令室に指示を仰ぐことになっているが、運転士は連絡せず、Bさんの意見と同じ、「車掌を運転席に座らせて新幹線を走行させ、その間にトイレに行く」という行動をとった。しかし、それでも少し遅れ気味に三島駅を通過したため、走行状況を監視していた指令室が問いただし、今回の問題が公になった。

自動列車制御装置があるという安心感と過密ダイヤで遅れたら叱責を受けるという恐怖感と間で悩み、短時間で判断を下さなくてはいけないという状況下でこのような行動をとったのだと思われる。

JR 福知山線の尼崎脱線事故は、後れを取り戻そうとして速度違反をしたことで生じたが、本件もその問題に通じるものを感じる。

③では、社長の立場で、そのような心情を踏まえて経済的な問題とのバランスを考えた対応を考えさせる。

この手の問題は、子どもには難しいように思えるが、私たちが教えてきた小学生は指導者の水向け次第で十分に答えられる問題である。「もし蝶々だったら」のようなありえないモノの立場で考えさせるより、真剣に子どもに考えさせる話題である。

2 JRの規則では、非常事態が生じたときは指令室に連絡するきまりになっている。運転士より連絡が入った場合、あなたが運転指令だったらどのような指示をするか。

運転指令はその場での確な判断を下さなくてはならず、どこか（上司）の指示を仰いではいられない（新幹線ジャックに遭ったような場合は除く）。
指令室の判断としては「三島駅に停車して用を足す。」または「臨時停車して用を足す。」となるが、運転士同様、過密ダイヤの調整という使命と安全との狭間で悩むところ。
考えてみれば、新幹線だけでなく、街中にはワンマンのバスや地下鉄が走っており、それらも自動運転ではなく、同じ問題を抱えている。

3 あなたが社長なら、再発を防ぐためにはどうしたらよいと思うか。運転士の気持ちや、経費のことを考えて解決策を考えよう。（以前は運転士が2人乗務していたが、自動列車制御装置が付いたのと、経費削減のため、今は1人乗務となっている。）

- ①運転士が「腹痛なんて恥ずかしくて指令室に言えない。」「ダイヤが乱れた責任を問われるので指令室に伝えない。」という空気をなくす。
 - ②自動列車制御装置が付いているのだから、車掌に短時間なら運転できる資格を与える。その資格を与えるため車掌を訓練する。
 - ③運転席にトイレを設ける。④オムツをして乗務する。
- などの意見が出るだろう。現在、運転士が車掌として勤務することもあり、そのような車掌を「列車長」と呼ぶそうで、現在、800人の車掌長のうち、500人が列車長の資格を持つという（東洋経済オンライン）。

1 2021年5月16日。ひかり633号は東京駅を出発し、品川駅、新横浜駅を過ぎ、小田原駅に停車した。その時、運転士はおなかいたが痛くなり、トイレに行きたくなった。

しかし、新幹線は3～4分の間隔で走行しており、小田原駅でトイレに行っている間は、後の新幹線かんが来てしまい、運行ダイヤが乱れてしまう。そこで、がまんして名古屋駅なごやに向かって発車させた。だが、すぐに激しい腹痛はげに見舞われ、がまんがふくつうできなくなった。名古屋まで約1時間、途中とちゅうの駅には停車せず、ノンストップで走る新幹線。走行中に運転席はなを離れて車内のトイレに行くか。あなたならどうする。

参考さんこうとなる状況じょうきょうは以下いかの通りである。

- ①ほかに車掌しゃしょうはいるが、運転士は自分一人である。
- ②新幹線には自動列車制御装置れっしゃせいぎよそうちが付いていて、運転士が意識いしきを失っても速度そくどを検知して非常けんちブレーキひじょうが働き、列車がはたら止まるシステムになっているが、自動運転ではない。
- ③途中とちゅうに駅はあるが、ひかり633号の停車駅ていしやではない。

2 JRの規則では、非常事態が生じたときは指令室に連絡するきまりになっている。運転士より連絡が入った場合、あなたが運転指令だったらどのような指示をするか。

3 あなたが社長なら、再発を防ぐためにはどうしたらよいと思うか。運転士の気持ちや、経費のことを考えて解決策を考えよう。(以前は運転士が2人乗務していたが、自動列車制御装置が付いたのと、経費削減のため、今は1人乗務となっている。)
